

アメリカの農業と工業

名前 _____

_____ 月 _____ 日

世界の姿 日本のは 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 **北アメリカ州** 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問

アメリカ合衆国は、どのようにして世界有数の農業国・工業国になったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 適地適作と企業的な農業

農業

① 地域の気候や土に合った作物を育てること。

⑦ 大型機械を使い、少ない人手で広い農地を経営する農業。

⑨ 穀物を世界中で取り引きする大企業。

アメリカ合衆国では、地域の気候や土に合った作物を育てる ¹ **適地適作** が行われている。五大湖の周辺では ² **酪農**、中西部では ³ **とうもろこし** や大豆、グレートプレーンズなどでは ⁴ **小麦**、南部では ⁵ **綿花** がつくられ、雨の少ない西部では肉牛の ⁶ **放牧** がさかんである。

大型機械を使い、少ない人手で広い農地を経営する ⁷ **企業的な農業** が中心で、乾燥した地域では、くみ上げた地下水を円形にまく ⁸ **センターピボット** も使われる。穀物は ⁹ **穀物メジャー** とよばれる大企業によって世界中に輸出され、アメリカは「¹⁰ **世界の食料庫**」とよばれる。

地域	主な農業
五大湖の周辺・中西部	² 酪農 ・ ³ とうもろこし ・ 大豆
グレートプレーンズ・南部	⁴ 小麦 ・ ⁵ 綿花
西部(雨が少ない)	肉牛の ⁶ 放牧

2 工業の発展と変化

工業

⑭ 北緯37度より南の、温暖な地域。1970年代ごろから工業が発展した。

⑰ 世界の多くの国に拠点をもち活動する企業。

アメリカ合衆国では、石炭や鉄鉱石を生かして ¹¹ **五大湖** の周辺で ¹² **鉄鋼** や ¹³ **自動車** の工業が発展した。1970年代ごろからは、温暖で土地が広く、労働力も得やすい北緯37度より南の ¹⁴ **サンベルト** で、航空宇宙や電子機器などの工業が発展した。

サンフランシスコの南の ¹⁵ **シリコンバレー** には、¹⁶ **ICT産業** の企業が集まっている。世界中で活動する ¹⁷ **多国籍企業** も多く、¹⁸ **大量生産・大量消費** の暮らし方は世界に広がった。カナダやメキシコとは貿易の協定(¹⁹ **USMCA**)を結び、結びつきが強い。



アメリカの主な工業都市

五大湖の周辺のデトロイトは自動車、ピッツバーグは鉄鋼の都市として発展した。南部のヒューストンなど、サンベルトの都市では航空宇宙産業などがさかん。

できた / 19

